



2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年5月14日

上場会社名 G-FACTORY株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3474 URL http://g-fac.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片平 雅之
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 田口 由香子 (TEL)03 (5325) 6868
 四半期報告書提出予定日 2019年5月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	749	2.9	63	△10.4	62	8.7	41	13.6
2018年12月期第1四半期	728	7.3	70	—	57	—	36	—

(注) 包括利益 2019年12月期第1四半期 51百万円 (227.2%) 2018年12月期第1四半期 15百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2019年12月期第1四半期	6.48		6.42	
2018年12月期第1四半期	5.53		5.39	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2019年12月期第1四半期	3,831		1,853		43.0	
2018年12月期	3,028		1,798		52.7	

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 1,645百万円 2018年12月期 1,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2018年12月期	—		0.00		0.00	
2019年12月期	—					
2019年12月期(予想)			0.00		0.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	4,056	37.9	217	△7.4	216	△6.2	135	△9.0	21.12	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期1Q	6,738,500株	2018年12月期	6,721,000株
2019年12月期1Q	300,000株	2018年12月期	300,000株
2019年12月期1Q	6,422,944株	2018年12月期1Q	6,629,411株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善、個人消費・設備投資等の持ち直しを背景に、政府の各種政策の効果もあり、国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国・中国等の海外経済政策動向、アジア・中東等の地政学的リスク等、依然として先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループの主力取引先である飲食業界におきましては、人材採用関連コストの上昇、消費者の多様化による業種・業態を超えた企業間競争の激化により経営環境は厳しい状況が続いております。

そのような状況下、当社グループは、ストック型収益基盤の強化を図るとともに、当社グループが賃貸主となるリースの提案促進に取り組んでまいりました。

また、国内の飲食店を始めとするサービス業の成長をサポートすることを第一に、「夢をカタチに！和食を世界に！」という企業スローガンを掲げ、国内の和食文化を世界の様々な地域へ輸出する架け橋となるため、グループ間で顧客へのワンストップフォロー体制の構築を進めることで、海外へ進出を検討する企業への海外進出サポートの基盤をさらに強化してまいりました。

さらに、消費者ニーズ及びノウハウの共有・活性化による新サービスの開発、海外進出による多店舗展開支援を目的に株式会社M. I. Tを子会社化いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は749,864千円（前年同四半期比2.9%増）、営業利益は63,453千円（同10.4%減）、経常利益は62,565千円（同8.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は41,639千円（同13.6%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

① 経営サポート事業

当第1四半期連結累計期間においては、引き続き収益モデルをフロー型からストック型に転換してまいりました。また、外食産業の市場規模は拡大傾向にあることから、それらに合わせたニーズの囲い込みを図ってまいりました。一方、まるごとサポート出店支援時における備品・消耗品費が増加したため減益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は517,021千円（前年同四半期比2.7%増）、営業利益は106,797千円（同4.8%減）となりました。

② 飲食事業

当第1四半期連結累計期間においては、券売機のテスト導入の開始、インバウンド需要への継続的な対応、中食需要の確保のため、宅配サービス業者の活用を継続した結果、増収増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は、232,843千円（前年同四半期比3.3%増）、営業利益は32,545千円（同2.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第1四半期連結会計期間の資産は前連結会計年度末より803,084千円増加して3,831,249千円となりました。これは主に、建物及び構築物が383,404千円、有形固定資産のその他が64,329千円、のれんが270,401千円、差入保証金が77,532千円増加したことによるものであります。

② 負債の部

当第1四半期連結会計期間の負債は前連結会計年度末より747,300千円増加して1,977,324千円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が106,067千円、流動負債のその他が196,925千円、長期借入金が412,854千円増加したことによるものであります。

③ 純資産の部

当第1四半期連結会計期間の純資産は前連結会計年度末より55,783千円増加して1,853,924千円となりました。これは主に、利益剰余金が41,639千円、非支配株主持分が6,292千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月14日に公表いたしました通期の業績予想から修正をしております。詳細については、本日（2019年5月14日）公表の「2019年12月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値はさまざまな要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,213,886	1,222,219
売掛金	59,040	37,062
割賦売掛金	24,064	17,874
リース投資資産	366,616	359,582
商品	13,368	18,912
その他	170,048	190,577
貸倒引当金	△3,461	△897
流動資産合計	1,843,563	1,845,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	319,968	703,373
その他(純額)	40,527	104,857
有形固定資産合計	360,496	808,230
無形固定資産		
のれん	—	270,401
その他	1,176	1,021
無形固定資産合計	1,176	271,422
投資その他の資産		
差入保証金	708,099	785,632
その他	128,464	123,134
貸倒引当金	△13,635	△2,503
投資その他の資産合計	822,928	906,263
固定資産合計	1,184,601	1,985,916
資産合計	3,028,165	3,831,249

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	101,230	76,046
1年内返済予定の長期借入金	111,093	217,160
未払法人税等	19,711	25,863
賞与引当金	—	6,095
その他	332,908	529,834
流動負債合計	564,943	855,000
固定負債		
長期借入金	82,556	495,410
長期預り保証金	536,977	562,148
その他	45,547	64,765
固定負債合計	665,080	1,122,324
負債合計	1,230,023	1,977,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	386,627	388,780
資本剰余金	332,715	334,867
利益剰余金	1,135,169	1,176,809
自己株式	△243,933	△243,933
株主資本合計	1,610,579	1,656,523
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185	214
為替換算調整勘定	△14,325	△10,807
その他の包括利益累計額合計	△14,139	△10,593
非支配株主持分	201,701	207,993
純資産合計	1,798,141	1,853,924
負債純資産合計	3,028,165	3,831,249

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
売上高	728,955	749,864
売上原価	435,514	453,304
売上総利益	293,441	296,560
販売費及び一般管理費	222,603	233,107
営業利益	70,837	63,453
営業外収益		
受取利息	91	535
為替差益	—	3,089
協賛金収入	262	262
受取保険金	3	24
受取手数料	487	—
その他	145	401
営業外収益合計	989	4,312
営業外費用		
支払利息	433	417
持分法による投資損失	—	4,747
為替差損	13,284	—
その他	524	35
営業外費用合計	14,242	5,200
経常利益	57,584	62,565
特別利益		
固定資産売却益	—	3,500
受取和解金	3,754	5,680
特別利益合計	3,754	9,180
税金等調整前四半期純利益	61,338	71,746
法人税、住民税及び事業税	27,521	23,106
法人税等調整額	△963	3,417
法人税等合計	26,557	26,524
四半期純利益	34,781	45,222
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,871	3,582
親会社株主に帰属する四半期純利益	36,653	41,639

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)
四半期純利益	34,781	45,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	148	28
為替換算調整勘定	△19,197	6,227
その他の包括利益合計	△19,048	6,256
四半期包括利益	15,733	51,478
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,345	45,186
非支配株主に係る四半期包括利益	△7,612	6,292

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間
(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。